

福高附属中 6 期生からの提案

由良川について調べると、近くにある川なのに知らないことがたくさんあり、由良川の魅力も見えてきました。私たち福知山高校附属中学校の 6 期生は、「由良川 AtoZ」を通して、多くの方々に由良川がつくり出した自然や歴史、文化、産業などを知ってもらいたいと思っています。そして、「由良川 AtoZ」を見てくださった皆さんと一緒に、由良川の魅力を守り、その流域のより良い発展について考えていけると嬉しいです。

由良川を中心に人や地域をつなげ、由良川と共により良く生きるために、以下の 3 つを提案します。

1 由良川を知り、由良川に親しむことで、人をつなげ、由良川の魅力を守っていく。

より多くの人に様々な面から由良川に関わってもらおうことで、由良川に親しみを覚える人が増えると考えました。そのために、今まで別々で行われていた由良川に関するイベントやボランティアなどを合同で実施することを提案します。例えば、サケの放流、河川の清掃、水質調査などを一緒に行うことで、幅広い年齢層の人が集まったり、違う側面から由良川に関わったりすることができます。サケの生息する美しく豊かな生態系を持つ由良川を身近に感じ、川や地域のために行動する人々のつながりが広がると嬉しいです。

2 時に水害被害に見舞われる由良川流域で、安心・安全に生活するために必要だと思うこと。

防災についてのアンケートを実施したところ、自分の家の危険度や避難場所については、ほとんどの人が知っていましたが、家から避難場所までの安全な避難経路や地域の要援護者の存在を把握している人は多くないことがわかりました。そこで、DIG と呼ばれる図上災害訓練を提案します。同じ地域の方と居住地域の地図を囲み、危険箇所や要援護者の存在を確認し、災害とその影響をイメージし、どのルートで避難をするかを検討する訓練です。この訓練により地域の人とのつながりができ、若者も防災や地域への意識が高まると思います。

3 由良川とその流域地域のもつ資源や魅力を活用し、さらなる発展につなげる。

中丹地域では、由良川流域が持つ自然条件によって良質なお茶が育ちます。しかしながら、アンケート調査では、中丹茶について詳しく知らないという声が聞かれました。そこで、まずは地元住民に中丹茶の魅力について知っていただくことが大切だと考えました。そのための方法として、地元小・中学校の協力を得て中丹茶についての授業をしたり、地元紙での特集や宣伝をお願いしたりすることが有効だと思います。中丹茶の魅力が地元の人からより多くの人に伝わることで、たくさんあるこの地域の魅力も伝わると嬉しいです。

Special Thanks

- 協力/指導 福知山公立大学 塩見直紀 先生
- 訪問や電話でのインタビュー等でお世話になった事業所等

中丹西土木事務所、福知山河川国道事務所、福知山市役所、JA にのくに菜々館、JA 京都にのくに（京都府産茶）、綾部高校分析科学部、中丹西保健所、京丹波町観光協会、京丹波町商工観光課、丹波町観光協会、丹波新聞、南丹市役所美山支所総務課、グンゼスクエア、治水記念館、福知山環境会議、明覚寺、安国寺、玉雲寺、両丹日日新聞（明智藪について）、日本茶インストラクター赤井貴恵様、お茶栽培の農家の方々、サケのふるさと由良川を守る会衣川様、由良川漁業協同組合、由良川サケ環境保全実行委員会、アンケートに御協力いただいた中丹地域の皆様

●参考文献等

由良川風土記、福知山の治水とまちづくり、カーンバック・サーモン、広報ふくちやま、森の京都、ブナの森を楽しむ綾部市 HP、福知山市 HP、舞鶴市 HP、京丹波町 HP、京都府 HP、気象庁 HP、国土交通省 HP、環境省 HP、GUNZE（グンゼ株式会社）HP、水分かれ資料館 HP、静岡県 HP（DIG とは）、ALSOK の DIG に関する HP、内閣官房 HP（民間の取組事例集「若者の防災への関心を高めるゲーム型の訓練」）、福知山市ハザードマップ、刀剣ワールド明智光秀 HP、氷上回廊 HP、由良川にサケよ帰れ！HP、黒部ダム HP

●写真提供

福知山市（B、J）、美山観光まちづくり協会（D）
福知山河川国道事務所（E、M、N）、
両丹日日新聞（K、Q、S）、舞鶴市（R）

発行 京都府立福知山高等学校附属中学校 6 期生
〒620-0857 京都府福知山市字土師 650 番地
(2021 年 3 月)



由良川 AtoZ

Think Globally,
Act Locally.

総合的な学習の時間
みらい楽！

京都府立福知山高等学校附属中学校 6 期生
(2020 年度・1 年生)

由良川 A to Z

由良川に関連することを調べ、AからZで始まるキーワードに整理をしてみました。初めて知ることも多く、由良川から流域の歴史や暮らしも見えてきました。この由良川A to Zを通して、由良川や由良川流域の地域について、多くの人により関心を持ってもらえると思います。



A エリア (Area・流域面積)

京都、滋賀、福井の府県境三国岳を源として北桑田の山間部を流れ、日本海に流れ出ています。延長146km、流域面積1880km²、標高775.9mであり、京都府を流れている桂川と比べて延長も長く、流域面積も大きいです。また、生活用水など住民の生活に欠かせない由良川は一級河川に指定されています。

C 治水

由良川と土師川が合流し、常に水害にみまわれていた地域に、明智光秀が水害対策として、およそ500mにわたり竹やぶを築いたと言われています。現在も、音無瀬橋の少し上流に一部が残っています。竹やぶは、光秀を慕い、明智藪と呼ばれ、現在も私たちが安全に暮らせるよう、見守ってくれています。

E 江戸期の洪水

由良川の流域は江戸時代にも80回を超える洪水に襲われてきたことがこれまでの研究で明らかになっています。中でも江戸時代最大の洪水である1735年の「卯年の大荒れ」、軒下6cmまで浸かった1866年の「寅年の大水」と呼ばれる二度の洪水は、多くの死者や被害を出した洪水として記録されています。

G 御霊公園

御霊公園には、昭和28年の台風13号の時の浸水位を示す水位標(標高20m、69cm)が設置されています。これは洪水の恐ろしさを後世に伝えるために、平成16年に御霊公園を含めた16ヶ所に設置されたものです。御霊公園や御霊神社を訪れた際には、水位標を見上げ、防災意識を高めてほしいです。

I 石生分水界 (いそうぶんすいかい)

本州にある1800kmの分水界のうち、標高が95.45mと最も低い分水界です。分水界は日本海側と太平洋側に水の流れが分かれる場所であり、高い山の尾根を思い浮かべますが、平坦な谷にある分水界は珍しいです。この一帯は氷上回廊と呼ばれる低地帯で、人間や動物の移動の要所でもありました。

K 京都の自然200選

「京都の自然200選」は、平成2年に自然環境の保全、関心を高めるために作られました。その中には、宮津市の「由良の門」や福知山市の「オノ神のフジ」、「サケの遡上する由良川」など、私たちが暮らす北部の地域の自然が80近くも選定されています。ぜひ身近な自然に目を向けてみてください。

B プナ林

温帯の植物群落であり、標高が高く寒い地域に存在します。プナの自然林は、全国の3.9%を占めており、原生林はさらに少ないです。緑のダムとも呼ばれ、水を蓄え綺麗にしてくれます。そんなプナ林が由良川流域の大江山や美山町の芦生にも存在し、大江山のものは自然環境保全地域に指定されています。

D ダム

由良川に関わっている多くのダムのうち、京都府で最初の多目的ダムである大野ダムは1961年に洪水調節・水力発電を目的として建設されました。北桑田郡美山町に位置しており、流域は美山町全域です。このダムの人造湖は虹の湖と呼ばれていて、地域にとってかけがえのないダム湖としてダム湖百選に選ばれています。

F 福知山大堤防

福知山大堤防は明智光秀が造らせた堤防をもとに明治42年に完成した堤防です。この堤防は昭和2年の北丹後地震により各所に亀裂や陥没が生じ、復旧の際にドイツ製鋼矢板やコンクリートを用い、強固な堤防に改修されました。担当者の名をとって岩沢堤と呼ばれ、今も福知山市街地を水害から守っています。

H 放流

由良川ではアユ、サケなど魚の放流を行っています。アユは1951年から、サケは1980年から放流の活動を始め、毎年約600尾もの遡上が確認されています。特にアユは、現在数が減少し、最盛期の1/2ほどにまでなっているそうです。放流をすることで、由良川の大切な資源を守ることに繋がります。

J 神社

由良川流域には式内社と呼ばれる由緒正しき神社が31社あります。その中でも特に有名なのが、大原、大川神社です。大原神社では、金色のサケが出てきて、神社の適地であるとお告げを受けた伝説があります。大川神社は、由良川の恵みへの感謝や、その沈静を願い建てられました。由良川と深い関わりを持った神社です。

L レジェンド (Legend)

由良川には多くの史跡があり、様々な伝説があります。浦島太郎を祀る神社が由良川中流の福知山市戸田や、下流の丹後地方にも存在することから、由良川を通して伝説が伝わっていると考えられています。他にも山椒大夫伝説や鬼退治伝説など多くの伝説が由良川流域で今も語り継がれています。

M 潜り橋

由良川には潜り橋が9つ存在します。潜り橋は増水時に橋がそのまま水没する橋です。由良川は洪水が多いので潜り橋があるのだと考えられます。普段は生活道路として使用されていますが、沈んだときにゴミが引っかからないように丸い橋脚になっていたり、欄干がなかったりして、普通の橋とは少し違ったつくりになっています。

O お茶

中丹地域(舞鶴市、綾部市、福知山市)で栽培されるお茶は上質です。全国茶品評会で、平成24~28年まで5連覇、令和2年度もかぶせ茶部門で1位をとっています。中丹茶は由良川からの朝霧を受けやすい環境で栽培され、香りが良いのが特徴です。より多くの人に中丹の良いお茶と文化を知ってもらいたいと思います。

Q 旧石器時代

由良川流域は、水や食料が得やすかったため旧石器時代から多くの人々が住んでいたと考えられています。これは、由良川流域の遺跡で旧石器時代の「ナイフ形石器」が見つかったことからわかります。この「ナイフ形石器」は、京都府北部で初めて発見された石器です。このように由良川流域には長い歴史があります。

S サケ

鮭と由良川は強い繋がりががあります。その中の1つとして、金色のサケ伝説があります。この伝説は金色のサケが現れ、その地が神社の適地であると告げたというものです。また寛文8年には和久市村の住人が当時貴重なサケを藩主に献上しました。当時からサケは大切にされており、現在では放流活動が行われています。

U 雲海

由良川を流れる水が、秋から冬の時期に霧となって大江山連邦を埋め尽くすことができます。綾部と福知山近辺は地形が盆地状になっているため、他の場所よりもよく霧が発生します。三岳山や大江山では、雲海から山々の峰が出て、雲に浮かぶ島のような幻想的な風景を見ることができます。

W 水質 (Water)

由良川にはアユやヒラタカゲロウなど水質が良好な河川で生息する生物が多く見られます。また、綾部高校の分析科学部が定期的に行っている水質調査でも水質汚濁を示すBOD値(生物化学的酸素要求量)が低く保たれており、由良川の水質が良好であることがわかります。

Y 由良の門を...

丹後の役人であった曾禰好忠がよんだ恋の歌です。由良の門は由良川の河口だと言われています。由良には、由良川の波のゆらりと、気持ちの揺らぎが表されています。この歌は、百人一首の中で京都府北部地域の情景が歌われた数少ない歌の1つです。由良の門近くには、由良の門碑という百人一首を記したものもあります。

N 2.2年に1回の水害

由良川流域は、昔から水害に悩まされ、1635年から1868年の間には、2.2年に1回の頻度で水害が発生していました。しかし、そのたびに河川改修や堤防の整備などの水害対策が行われたことにより、2004年から2020年の間には水害の発生は4年に1回に減少しています。

P 絶景ポイント

私たちがお勧めする絶景ポイントは、音無瀬橋と由良川橋梁です。音無瀬橋は全長478mのアーチ橋で、由良川に映える白いアーチが美しいです。河口近くにある由良川橋梁は全長552mの橋梁で、そこを通る京都丹後鉄道青い空と水を背景に写真に撮るのが人気のスポットです(表紙写真)。ぜひ絶景ポイントへ訪れてください。

R リップルマーク

堆積層の表面を水や空気が流れることによって、波状の模様が作られた微地形のことです。舞鶴市岡田由里の由良川沿いにある採石場の崖に広さ20m²以上の国内最大級のリップルマークの地層が露頭しています。このリップルマークは三畳紀の舞鶴帯の環境と発達史を解明するための貴重な資料です。

T 琴滝

琴滝は京都府最大級の滝です。琴滝は由良川支流の1つです。1749年には当時の亀山藩主が水の流れ落ちる様子が琴糸に見えることから琴滝と名づけました。また、「今昔物語」にも棚波ノ滝として登場しています。琴滝は観光所としても人気で近くには須知場跡などがあり、歴史に触れることができます。

V ボランティア

サケが遡上し、アユが生育する由良川を美しくより良い川にするために様々なボランティア活動が行われています。例えば、由良川クリーン作戦です。これには福知山高校附属中學生も参加しています。2020年は40kgのゴミを回収しました。皆さんも参加して、由良川の河川敷を美しく保ちませんか。

X クロス

由良川の支流である和久川と弘法川は荒川排水機場付近で、弘法川の上を和久川が交差するように流れています。これは、大雨が降ると弘法川流域でよく氾濫被害が発生していたため、河川の改修工事を行い、サイホンという管の水路を用いて弘法川を和久川の下に流したためです。

Z 全国有数の養蚕地帯

「蚕都(さんと)」と呼ばれた綾部を中心に由良川流域では古くから蚕を育て、生糸を採取する養蚕業が盛んでした。しかし、開国後の機械化、工場化の波に乗れず産業が後退していたこの地に、地域の幸せのために波多野鶴吉が郡是製糸株式会社を創設し、日本を代表する大企業グンゼ株式会社へと成長しました。